

○第3回久米南町学校教育審議会 概要

開催日時：令和5年3月28日（火） 午後6時00分～午後7時55分

会場：教育委員会 会議室

出席者：委員 10名（熊谷委員 神田委員 下山委員 青木委員 田中委員
中田委員 清水委員 河合委員 漆間委員 山中委員）
教育委員会 4名

欠席者：1名（小川委員）

会長挨拶、配布資料・地質調査説明後、審議に入る。

会長 短い時間での調査ありがとうございました。委員の皆さんから何か質問はありますか。

委員 グランドは中学校よりも低く感じる。実際に建てる時は、かさ上げの必要があるのでは。

事務局 建設時は本格的な調査が必要なので、対策を取って行きたい。

会長 他にありませんか。今ある資料では地盤は安定しているということでしたが、今の意見でもあったように、川の近くということもあるので対策は必要かと思います。子供の安全が一番ですから。

他には無いようですが、地盤についても良かったので、新しい小学校は中学校のグラウンドでよろしいでしょうか。

委員 一つに絞ることが答申として良いことだと思うのですが、審議会として候補地をいくつか模索しても良いのではないかと。決めてしまってもいいのかなど。いくつかの中で、中学校グラウンドが最優先というふうに含みを持たせた方が。危惧しているのは、車で来た時に線路のところが非常に狭くて、今日車で来てみて不便だなと。

事務局 おっしゃることは前からいろんな方からご意見は頂いております。道路の拡張以外にも、JRとの協議も必要となってまいります。道路や踏切の拡張は協議していきたいと思っております。

委員 弓削駅の裏からも中学校へは来られます。今はフェンスがありますが、グラウンド側からの侵入も可能です。工事が始まった時、工事車両とかはこちらからだと思うのですが、中学生の安全はしっかり考えて頂きたい。

副会長 スクールバスもあちらを回った方がということですか。

委員 その方が広いと思います。今は出入りは出来ませんが。道幅はバスが通れる幅はあると思います。

副会長 バスは行き交うことは無いと思います。時間に来て、時間が来れば出てという感じで、小学校でもありません。

委員 これは工事をしていく中での対応で対策できると思います。

会長 皆様のご意見を聞きながら、答申では、複数の回答ではなく、これが望ましいという形にしたい。ここに決定というわけではなく。

小中連携一貫という形で、小学校と中学校の連携をより一層強化したカリキュラムを目指すなら、お互いの距離が近い方が連携しやすいことは明らかなので、中学校のグラウンドが望ましいという答申が良いと思うのですが、皆さんはいかがですか。

委員 この前の審議会の後、誕生寺小学校では保護者さん対象にアンケートを実施しました。28世帯中19世帯回答をもらって、設問が、現行型と小中一貫型、義務教育型のどれがいいですかと。メリット、デメリットの説明は私の先入観が入ってはいけないので、インターネットを活用して調べてくださいという形で。回答は、現行型、小中が分かれているものが5件、11件が小中一貫型、義務教育学校が1件、2件が無回答やそもそも反対という意見でした。単純に数合わせをして欲しくないとか、カリキュラムが気になるという意見もありました。中には、現行型というものが、まだ3小学校でというとらえ方の人もいるようで、周知が足りないのかなと感じました。みんなが納得した上での答申で、周りの人もこうやって悩んでくれての答えというふうに感じてもらえないと、わだかまりが残ったままになる。そこがちょっと心配です。

会長 非常に短い間でアンケートを取っていただいております。学校の形態をどうするかを答申しないといけません、その学校をどう作っていくかは、次の委員会で決まることとなると思います。ですから枠が決まってないと、どういうカリキュラムを作って、どういう学校運営をしていってということが進みません。そのためにも、学校形態を決める必要があります。小学校が単独という形になれば、ますます中学校との連携は強化しないといけません。小中連携一貫教育という学校の形態の中で、どんなカリキュラムで、どういった取り組みをしていくかということ、建設というハード面とは別に、ソフト面の検討をしっかりとしないといけませんということです。ですからこれで審議が終わるということではなくて、これからスタートしなければいけないということです。スタートさせるにはまず形態を決めないと、前に進まない、こういう形が望ましいという答申が必要ではないかと思っています。学校が無くなるということは、地域の方にとって、保護者の方にとって大変不安なことだと重々分かります。そういった中でも新しい学校を作っていこう、考えていこうということで審議会で考えてきましたので、方針と言うかこういった形が望ましいという答申を考えたいです。

委員　もちろん連携が望ましいということはわかるのですが、委員としてというかいち住民として私自身がまだよくわかってなくて。勉強せえと言われればそれまでですが。

会長　そのために事務局から丁寧に説明があったと思うのですが、学校形態の違いや、単独校か、小中一貫か、義務教育学校か。で、前回、一貫よりも連携という形で、連携一貫教育が望ましいということで意見の一致を得られたと思ったのですが、それでも納得いかんというのでしたら、同じ審議をしていかないといけません。そうすると増々遅くなって、新しい環境を作っていこうとすることも遅くなってしまいます。我々は決断をしなければいけません。重たいと思います。委員の皆さんお一人おひとり。でも決めなければ前に進みません。3小学校あって、今までのままで地域に近いところがいいというのも分かります。しかし、このままでは子供たちが少なくなって、子供たちの切磋琢磨の体験、協働して学んでいくということが難しい状況になっています。それで統合ということが決定されたと思っています。これは審議会の前に決定されています。ここでは統合した学校はどういう形態がいいのかという議論を進めて行く場だと考えています。我々委員も重く受け止めながら決断していくことが大切だと思います。

委員　これだけ周知されていて、知らなかったという方が悪いんじゃないかと思っています。お話を聞いてなぜそこまで無関心だったのか。

委員　みんな知っていると思ってアンケートを取ってみた。旭や柵原のように近くでも同じことがあるので。

委員　100%みんなが同意して進めるというのは難しいと思っています。なのでこうやって代表が集まって決めているので、決断していいと思います。方向性は決めないといけないと僕は思っています。

委員　なかなか難しいです。保護者に考えを聞くことがありますが、もともと統合に賛成の人ばかりでもないし。一番思ったのが、中学校に併設ありきで話が進んでるなど、何を言っても決まってるんでしょと思っている人が多くて。同じようにアンケートを取ったりもしましたが、知らないというか、言っても聞いてくれないんでしょとか、勝手にしてくれという意見の人もいて。最初から決められているのに話し合いやアンケートを取っても意味がないように思えて。審議会に来るのも気持ちが重いです。いろんなところを見て判断なら納得いくんですが、運動公園の周辺はとか、誕生寺小学校が新しいので、誕生寺小学校に中学校を併設ではダメなのかとか。この中学校に併設というのが最初から決まっているようで、みんなが読んでくれないというのも感じています。

会長 委員の方がそれは違うと説明してもらわないといけないと思います。私は町民ではありませんが、最初から中学校に併設で話があったわけではありません。これは最初に連携することが重要で、そこから連携するなら中学校のグラウンドが良いんじゃないかということでした。グラウンドに決まっていることが最初じゃない、ここだけは違っているということは話してもらわないと。伝えてもらわないと、審議の中でもそんな話はしていないと思います。小学校と中学校が連携しないといけない、どう連携していくかの話の結果、連携しやすい場所を選ぼうという内容でした。そういうふうに思っている人がいるのであれば、誤解だと説明してもらわないと。

委員 連携が出来ていなかったという話からですか。

会長 一番は久米南町の子どもたちにいい教育を受けてもらいたいというのがスタートです。それで、小学校は小学校、中学校は中学校というように別々ではなくて、カリキュラムを繋げて、連携していくことが重要ではないかという話し合いをした結果、連携してくるのであれば中学校と近いところが良いんじゃないかという結論でした。そこは納得して頂けているところだと思っていましたが、そうではないということですか。

委員 以前の会からスタートして参加させていただいて1年以上です。久米南町の子どもたちのことを考えて、いろんな話し合いをしてきました。今のままでは複式の問題もあったし、よその子たちは経験出来るのがこのままでは出来なくなるということもありました。実際の数字を見ても、将来増えるのかということそうではない。いろんなことを考えて学校統合の話が出てきたと思うんです。アンケートも取り、町も説明会をして、出席は多くなかったと聞いていますが、こういう形をとり現在ここまで進んできました。できるだけ早く、現実的に作っていかないと、いつまでも足踏みをしていたらいけないと思うんです。皆さんの思いはいろいろあると思いますが。

副会長 少子化は久米南町だけの問題ではなく、県北の学校ではすごく真剣に考えないといけない問題と改めて感じています。子供のためにどういう形が一番いいのか、私としては、教職に立っている身としては、ある程度の人数の中で育てたいという気持ちは一番にあります。これから先を見据えたときに、今決まっても統合はまだまだ先。それが遅れると、どんどん少なくなって学年2名の学校もあるという情報もあって、もう目の前に迫っているという状況です。この中で小学校と中学校の連携は欠かせないことだと思います。連携したくても校舎の問題とか、吸収合併のような形でないとできないという学校もあります。久米南町は新しい学校を

作ろうじゃないかと言う決断をしてくれたことで、より小中連携が出来やすい状態に久米南町はもって行けます。地域の方も大切なんです、子供たちにとって一番いいのは何なのかを審議して頂きたいと思います。

委員 統合するのは決まっています。1小、1中で連携するのが良いんじゃないかという話の中で、連携するなら近い方が良いというのは普通の流れで、それを前提に考えていきましょう。もし連携というところが引っかかるのであれば、場所は中学校の近くに作っておいて、連携という部分は後からでもいくらでもできます。ただ、離れていると連携しようとしたとき難しいです。中学校は建てられて7、8年。これから小学校を建てます。例えば、運動公園のところに小学校を建てたとすると、1小、1中で連携しようとしたとき、この距離は教員の行き来の時間のロスがでます。今考えられている場所に建てられれば、最初は小学校は小学校で、中学校は中学校でやっていって、軌道に乗れば、専門教科は中学校の先生が行うということが可能です。連携というところに引っ掛かりがあるのであれば、最初は小学校は単独で運営する。ただ、経費の問題もあるので体育館とかは調整して両方で使っていって、既存の施設は使える範囲で両方で使うとか、工夫はいくらでも考えられると思います。引っ掛かっていることは何なのか。その引っ掛かりを解消する話し合いをすればいいし、ただ、何となくと言うのであれば、もう議論は進まなくなります。連携という形に抵抗があるのであれば、小学校は小学校でスタートを切ればいいと思います。

委員 連携に引っ掛かっているのではなくて、小学校と中学校の連携は、教育現場の方々の意見を聞いて良いことというのはみんな分かっていると思います。では運動会の時どうするの、駐車場どうするのとかいろいろと解決していなくて。もともと中学校に併設して小学校をとというのが決まっているのであれば、この話し合いは必要ないし、調べているのがここだけで話が進んでいるので。

会長 前回の話し合いでこの場所の地盤の調査資料をとということになりましたよね。

委員 経済的なことを考えればここしかないとは思いますが、皆も思いは同じだと思のですが、最初から弓削ありきで進んでいるのが、神目にしても誕生寺にしても意見を蔑ろにされているようで、いろんなところを検討してここというなら納得できますが。連携が大事ということは分かります。近くの方が連携しやすいということは。

委員 出来レースっぽいということですか。

委員 そんな感じがするところです。小中一貫校もいきなりだったのでびっ

くりして。連携していかないといけないということは分かってるし、小学校の不登校が増えている問題も分かります。小学校でも解決していないことを、小中で考えていけば解決できるのではないかとということも分かります。長い目で、9年間で先生たちが関わってくれることで、今より良い環境があって解決できることもあるのも分かります。会長や副会長の先生方は関係ないんですけど、もともとというか、最初からの流れがあって、納得できないことがそこなので。

会長 私は全くのフラットですから。最初からこの候補地があるからという話ではありませんでした。私はどこの地区でもありませんし。でもこれってトップダウンじゃないんで。皆で当事者意識を持って、子供たちに一番いいのはということを考えてときの手順だと思います。小学校、中学校は連携しないといけないし、学校も働き方改革というのもあって、久米南町の小学校の先生と中学校の先生が別々というのではなくて、一緒にといいのが良いと思うし、小学校でも英語が始まっていて、中学校の先生が小学校で英語ということも出来ます。久米南町以外のことをお話しして申し訳ないのですが、連携したくて併設しようとしても出来ない学校がたくさんあります。出来レースではなくて、久米南町はその場所があるということです。中学校を建て替えしたときのことは分かりかねますが、横に広いグラウンドがあって、土地があるということは、久米南町にとってメリットだと思います。ラッキーだと思います。出来レースでなくて。私もよその地域をまわって、なかなかこんなケースはありません。そういう意味でも、連携するためには非常に望ましいのではないかと客観的に思うわけですが。地域の人それぞれに意見、思いや気持ちはあるというのはよく分かります。

副会長 出来レースと思われてしまったのは申し訳なかったと思います。今はいろんな話をした中で、連携は大事だと思ってくださっている、そうしたら中学校のそばが良いのではないかとすることは、必然的に結果はそうなっていくと思います。私も町から中学校のそばということを事前に聞いていたわけではありませんし、連携するならば中学校のそばというイメージになるのではないかと思います。

委員 頭ではわかっているけど、気持ちが解決できないところですよ。

委員 1回失敗しているんで、いろんなところを検討したくて。いろんな問題を話し合う場がこの審議会だと思って来ている。

会長 住んでる人の気持ちから考えると、近い方が良いと考えるのは普通だと思います。でもこれは大人のエゴであって、子供の事を第1に考えていかないといけない。子供の教育の事を考えたら、大人が折れないといけな

いところではないかと思います。子供の教育のためだから我々が繋がれることなんだと思います。そこで意地があつたりとか、綱引きがあつたりすれば、結局子供の教育のために良くない。子供は少なくなるし、どんどん後手に回ってしまうことになると思います。ですから、大人の気持ちよりも、子供の教育を最優先して考えていきたいと思っています。ですからどこの地域に肩入れするというわけではありません。久米南町の子供たちにとって、何が一番いい形かを考えることが大切だと思います。

委員 地域の人々の強い思いがあるというのは周りから聞いています。地域から学校が離れてしまうというのが一番大きいことで、自分たちもそこで育ってきて、孫たちも育てたいという思いがあつて。早いタイミングで言っていないと、疑問点ばかりが出てきて、良いことをしても不信感が強くなっていくので。うちもおじいちゃん、おばあちゃんからよくしてもらっていて、そういう環境から離れることには抵抗があります。早めの発信をお願いします。

会長 皆さんのお話を聞くと、地域の思い、保護者の思いというのが学校運営に反映されていないというのが根強くあるんだと感じました。新しい小学校が出来たとき、コミュニティスクールという形態があります。地域の人や、保護者の人が学校運営に参加するという形で、年に何回か会議を開いて、意見を求めたり承認したりということです。ちょうど今回のようにみんなが集まって学校運営について思いを話し合う場です。話し合いをしながら進めて行くということです。私は学校形態がどのようになっても、このコミュニティスクールを入れて、地域の人や、保護者の人の意見を反映したり汲んでいく学校運営の在り方が大切だと思いますので取り入れて欲しいなと思います。

委員 知らせることが出来ればみんなも納得できると思う。3校の利用についても含めて、何らかの形で情報を出して欲しい。

委員 皆さんのお話を聞くと、地域でもいろんな意見があつて悩まれているんだということが感じられました。10年先、20年先、もっと先まで久米南町の子供たちの事を考えて学校を用意していかないといけないと思います。私もいろんな教育委員会で切実な話を聞いていますが、本当は一緒にしたくても、お金もない、用地もない、それでも連携していかないといけないというところがあるようです。久米南町は統合して、新しい学校を建てることを決断したわけですから。次の段階の準備会でいろんな心配事が出てくると思うんですが、クリアにしていけばいいと思います。

会長 統合するというのは決まっています。その中で、新しい小学校の在り方はどうするのかということで、3つの形態の中から考えていく、これは最

初に用地があるからではなくて、フラットな視点から、統合された1つの小学校と、今ある1つの中学校が連携しながら久米南町の子供たちを育てていかなければならない。そのためには先生との連携も大切だし、先生、保護者、地域の人との連携も必要です。そういうふうと考えていくと、一貫という言葉に抵抗があるようでしたら、連携一貫教育という形が望ましいのではないかと思います。これは前回決まったのですが、今回まだ引っ掛かりがあるということで皆さんのご意見をお聞きしました。今回のお話を聞いても、小中連携一貫教育が望ましいのご意見が多いように思えたのですが、皆さんよろしいでしょうか。

(意見なし)

はい、わかりました。連携一貫していくためには、小学校、中学校の連携をさらに強化したカリキュラムによる学校運営が望まれると、これからの具体的な方策については、委員会を設置して作っていく。その時に、地域や保護者のご意見を踏まえながら進めて行くということとします。

ここの順番は大切にしたいのですが、連携一貫教育をするならば中学校と近いところがいいということ。いろいろな思いはあると思いますが、中学校に近いところということで、久米南中学校のグラウンドに建設することが望ましいということでしょうか。

委員 よろしい。

(他に意見なし)

会長 それでは、そのように望ましいとさせていただきます。連携するということが大変で、新小学校と中学校の間が渡り廊下等で、校舎間の行き来が、出来やすい環境整備、地域の方との共有スペースができればいいかなと思います。小学校と中学校を繋げることが建設上可能ならということにはなりますけど、連携はしやすいと思います。

最後にですが、統合までの既存の小学校はどうするかですが、今のままの学校運営が望ましいとしたいのですがいかがですか。学校の移動は子供たちへの負担が大きいと思いますので。新しい学校ができるまで、別のところに移動して、また戻ってくるでは、負担が大きいと思うからです。それぞれの小学校の歴史を愛おしむという期間も必要と。皆さんいかがでしょうか。

委員 統合することは決まっているので、保育園は合同保育で交流しているのですが、3小学校で時間を取って、合同授業とか、行事とか組み込んで行って欲しいなと思います。統合したときに仲良くなるのではなく、それまでにも交流していけば、スムーズにいけると思うのですが。

会長 とてもいい意見だと思います。今でも3小学校の交流はしているので

すが、より一層強化した交流、横の交流の強化も取り入れていきましょう。
副会長 昨年度は、低学年は Zoom で繋がって自己紹介をしたり、他の学年も消防署見学、もむらふれあい交流館見学に一緒に行ったり、スポーツ集会や海事研修や修学旅行、今でも少しずつ交流は進めています。今後は遠足や授業にも広げて行って、統合したときに同じ教育目標で進んで行けるように、計画的に合わせながら、子供が戸惑わないようにはしていこうと思っています。

委員 今の小学校の利用については並行して考えていくのですか。活用です。これについては示されていないのですが。

事務局 この点につきましては教育委員会だけではなくて、町長部局も含めて今後協議していく予定です。

委員 建物は無くならなくても子供の声が聞こえなくなるのが寂しいという意見が多くて、時間を空けずに統合後の利活用について協議してもらいたいです。

会長 諮問についての答申については、一番目は連携一貫校を目指すことが望ましい。二番目は久米南中学校グラウンドに建設することが望ましい。三番目は、既存3小学校は新小学校建設まで、今のままの学校運営が望ましい。この三つで答申したいと思います。先ほど委員が言われたように、これからの学校運営の具体的な方策については委員会を設置して検討して欲しいということや、利活用について早急に検討して欲しいことも入れましょう。

*答申書の作成に入る

会長 皆さんこの答申書でよろしいですか。
(意見なし)

それではこれを答申とします。

皆さんのお力添えを得て答申を作ることができました。久米南町の子供たちのために望ましい答申が出来たと思います。ありがとうございました。